

2018年4月24日

報道関係各位

三井不動産株式会社

東京ミッドタウン日比谷 開業から1ヶ月を前に、来場者数 200 万人を突破！

～東京の新たなランドマークとして好スタート～

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区 代表取締役社長:菰田正信)が、2018年3月29日(木)に開業した「東京ミッドタウン日比谷」(東京都千代田区有楽町一丁目)の来場者数が、開業から約1ヶ月、ゴールデンウィークを目前に200万人を突破いたしました。



1F アトリウム



6F パークビューガーデン

■ 予想を上回るペースで来場者数を記録

開業初日には、オープンを待ちわびた約1,000名を超えるお客さまの列ができ、開店時間を30分早めてオープン、約10万人が来場いたしました。その後、最初の週末までの計4日間(3/29～4/1)で約40万人の来場者数を記録。以降、目標を上回るペースでご来場いただき、開業1ヶ月前の4月23日(月)時点で、来場者200万人(1日平均約8万人)を突破いたしました。

個性溢れる60の店舗には日々多くの人々が訪れ、ここでしかできない体験を楽しむお客様の姿が見受けられます。物販店では、東京ミッドタウン日比谷限定商品を求めるお客様も多く、すぐに完売した店舗もあり、売上は好調です。飲食店・レストラン、テイクアウト店舗にも連日列が絶えず、これからの行楽シーズン・ゴールデンウィークでも多くの来場が見込まれます。また、東京ミッドタウン日比谷を中心に、昼間は観劇・映画帰りのお客さま、夕方以降は立ち飲みを楽しむビジネスマンの姿も増え、昼夜を問わず、日比谷全体に賑わいが生まれています。

■ ゴールデンウィークもさらなる賑わいに注目！

東京ミッドタウン日比谷では、2018年4月26日(木)から2018年5月20日(日)まで、開業後初のエリアイベントとして、日比谷から世界へ発信する観劇の祭典「Hibiya Festival」も開催し、より一層の盛況が期待されます。

今後も劇場や映画館など上質な芸術文化や日比谷公園の豊かな緑など、日比谷エリアが持つポテンシャルを最大限に活かしつつ、未来志向の新たな体験や価値を創出し、上質な時間を発信する街づくりを目指します。